

令和5年 5月19日（金）

あさひの日だまり

NO. 7

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～1年生を迎える会がありました～

6年生を中心に頑張りました

17日の金曜日に1年生を迎える会がありました。ジャンケン列車を企画してくれました。全校が体育館に散らばって開始したジャンケン列車が次第に連結し、全校が体育館の中心に集まってきました。最後に全校が肩を寄せ合って腰を下ろすその様は、1年生から6年生までが次第に心を寄せ合う姿にも似て、思わず私は心に温かいものがこみ上げてきました。

また、1年生がダンスを踊る姿は、満面の笑みと体中から喜びがあふれ、心から踊るを楽しんでいる様子が感じられました。出し物を自分たちが一番楽しむ。すごくいいな～と思いました。その環境を作ってくださった1年の先生方にも感謝です。

数日前に練習の様子を少し見せてもらいました。「シナリオを子どもたちが自分たちで打って作ったんです。それをもとに会が開けます」と6年の先生が教えてくれました。「自分たちで作る歓迎会」になっていくのいいですね。とお話ししました。

全校練習で校歌を歌った後、ステージ上で歌声を聞いていた代表の児童が、感じた思いを自分の言葉で一言一言一生懸命に伝えてくれました。実感を伝えてくれるこの姿を通して、聞いている全校の児童にその願いが染み入っていったように思いました。

素敵な会を作ってくれた6年生と1年生を含め全校の児童に心から感謝です。



1年生のダンス。その明るさに思わずひき付けられました。



会の最後は全校で校歌を歌って終わりました。

～校長講話がありました～

辰野のすごい昆虫についてお話をしました

校長講話がありました。どんなお話をしたらいいかなと悩みながら考えました。運動会が近いから運動会についてかな。1年生を迎える会があるからそのことかな。などなど考えましたが、子どもたちの本当の頑張りに比べたら、私の言葉など本当に軽いものになってしまうのでそれは子どもたちが感じる豊かな感性に任せることにしました。今回は、学校のことから少し目を広げて辰野町のことについてお話することにしました。お話の内容を掲載しました。よろしければご覧ください。（スライドは当日使ったものの内から抜粋しました）

皆さんおはようございます。先生は、今日の校長講話でどんなお話をしてほしいですか？と、昨日廊下で出会った6年生の人に聞いてみました。なんとその人は「ゴキブリについて話してほしい」と言いました。校長先生はそれから一生懸命ゴキブリを探して歩きました。残念ながらゴキブリを見つけることができませんでした。ごめんなさい、ゴキブリについてのお話はできないこととなってしまいました。

先生は悩みました。どんなお話をしようかなと。ゴキブリは昆虫ですよね。そこで思いつきました。今日はね、昆虫についてお話をしよう決めました。

皆さんしっていますか。なんと皆さんの住んでいるこの辰野町には、日本全国でここにしかないすごい昆虫が4種類いるんです。これはね、やがて皆さんが辰野町を出て、都会や他の場所で生活することがあれば、胸を張って威張ってお話ができる昆虫です。

実はこの箱の中にその昆虫が入っています。さあ、その4種類の昆虫を紹介しましょう。先生が昨日買ってきました。これだけで2100円もしました。超高級品です。長野県を訪れた観光客の皆さんはこの高級品をお土産として買っていくんです。そして、お家へ持ち帰って・・・・・・食べるんです。



まず一つ目。「さなぎ」です。これはなんのさなぎかわかりますか？ かいこです。この辺では、尊敬の意味を込めて、「お」をつけて、そして「様」もつけて、おかいこ様と言います。

昔、日本が他国と経済的に肩を並べるような国になっていくとき、主役の輸出品は生糸でした。生糸は、美しい着物になりました。生糸のもとになるのはおかいこ様が作り出してくれるまゆ玉です。日本の生糸の中心産地は長野県の諏訪あたりでした。そして、わたしたちのクラスこの辺りでは、おかいこ様をあ



ちこちの農家で育てていました。まゆ玉を利用した後は、さなぎが残ります。

さなぎを、私たちは、大切なたんぱく質としていただいていたのです。

次です。ハチの子です。これは黒スズメバチの子どもです。このハチは、私たちが毎日目になっている近くの山に暮らしています。昔から、「ハチ追い」といって、山に入ってこのハチを追いかけて巣を探す人がいました。この巣のを見つけ方がなかなか面白いんです。もしよかったら、自主学習で調べてみて下さい。そうして手に入れたハチの子を私たちは大切なたんぱく質としていただいていたのです。先生も実はハチ追いをしたことがあります。その時は、怒ったハチに首の後ろを刺されて病院へ行きました。

3つ目です。イナゴです。イナゴはどこにいるか知っていますか。そうですね、皆さんの家の周りにある田んぼです。イナゴってとてもすばしっこいんです。なかなかつかまりません。だから、朝早く捕りに行くんです。朝露に羽が濡れているうちにとるんです。先生が小さい頃おばあさんに連れられて朝の田んぼに行くとあちこちでイナゴ捕りをしている人がたくさんいました。

最後はザザムシです。先生昨日ザザムシを見つけに行ってみました。ザザムシっていうのは、川が「ザア ザア」流れているような石のある所に住んでいる虫のことを言います。先生が河原の石をひっくり返してみると写真のよう



な虫がすんでいました。このような虫のことをまとめてザザムシって言います。昔捕りに行ったところに比べてたくさんいました。あまり捕る人がいなくなったからだろうと思います。先生が見つけたこの川、どこの川かわかりますか。皆さんの家のそばを流れている天竜川です。

ザザムシは大きくなると、こうなります。夏の夜、家の電灯に飛んで来ることもありますね。

皆さん、すごくないですか、日本に誇る食べ物が、辰野町には私たちの暮らしているすぐそばに住んでいるんです。

さあ、皆さん、校長先生は今まで何回もこの場所でお話をしてきました。そして、そのテーマはいつも同じでした。何だったか覚えていますか。(何人かの児童が「挑戦」と答えてくれました) そうです「挑戦」です。当然今日も「挑戦」ですね。さて何に挑戦するか。だいたい予想がつきますね。・・・・・・(食べる！という叫び声)

みんなに食べてもらってもしお腹が痛くなっちゃったら校長先生はお家の人にごめんなさいって謝らなきゃになっちゃうから、今日は周りにいる先生方に挑戦をしてもらいたいと思います。

(代表の先生に4種類の珍味を試食していただきました。「おいしい!」という感想をいただきました)

全国に誇れる食べ物が辰野町にはあるのです。辰野町の昆虫はすごいですね。今日のお話はこれで終わります。